

処分組合ニュース

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

〔事務局〕 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com
処分組合は、多摩地域25市1町380万人の可燃ごみ焼却灰や不燃物を埋め立てている二ツ塚処分場を管理・運営している特別地方公共団体です。

処分組合体

八王子市 昭島市 東村山市 清瀬市 西東京市
立川市 調布市 国分寺市 東久留米市 瑞穂町
武蔵野市 町田市 国立市 武蔵村山市
三鷹市 小金井市 福生市 多摩市
青梅市 小平市 狛江市 稲城市
府中市 日野市 東大和市 羽村市
処分組合は組織団体からの負担金で運営されています

多摩26自治体の「ごみ減量」チャレンジ 三鷹市の巻

最終処分場への搬入量を大幅ダウン！ 多彩なアプローチで、ごみ減量に挑戦

約8万世帯、17万余人が暮らす三鷹市。ごみ処理にかかる費用は1世帯あたり1年間で3万7,800円に及びます。「家庭から出すごみを削減」最終処分場へ運ぶごみの減量をめざし、さまざまな取り組みを実施した結果、平成14年度の二ツ塚処分場への搬入量は4,579トンで、前年度に比べ1,067トン(18.9%)も減少しました。

「1世帯1日100gの減量を」 キャンペーンやカレンダーでPR

三鷹市は人口の1割が毎年、転入・転出します。そこで、ごみの出し方や処理の流れ、処理にかかる費用などを説明する『三鷹市リサイクルカレンダー』を全世帯に配付し、ごみの分別やリサイクルを呼びかけています。すでに10数年にわたり取り組んでいる「1世帯1日100gのごみ減量」の説明もカレンダーに盛り込まれています。

また「ごみゼロの日」にかけて毎年5月30日頃には、ごみ減量等推進会議がキャンペーンを実施。街頭で市民にごみ減量を直接PRします。平成7年に編成された不法投棄の監視や分別の徹底を促す「美化パトロール」も、地域に根ざした活動を続けています。



毎年5月30日頃、街頭で「ごみゼロキャンペーン」を行っています。



全世帯に配付する『三鷹市リサイクルカレンダー』でごみ減量をアピール。

リサイクル市民工房では、木工細工や石けん作りなど、さまざまな講習会を実施。

講習会やフリーマーケットで リサイクルへの関心をアップ

平成7年開設のリサイクル市民工房では、粗大ごみ収集に出された家具や自転車などを展示し、希望者に抽選で引き渡しています。ボランティア講師による講習会では、廃油から石けんを作るなど、身近な材料を使ってリサイクルの芽を育成。年2回のフリーマーケットも好評です。

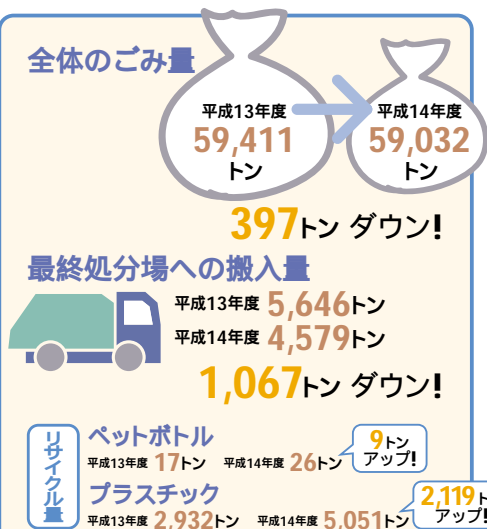
清掃工場で燃やしたごみの灰(焼却灰)の一部を「溶融スラグ」と呼ばれる土木建築資材にリサイクルする取り組みも行われており、市役所の駐車場でも使用されています。



下/焼却灰から作った「溶融スラグ」。左/市役所駐車場の砂利、アスファルト路面で使用。



三鷹市のごみデータ



人口の微増にもかかわらず、三鷹市のごみ量は減少。焼却灰や資源ごみのリサイクルなどにより最終処分場への搬入量も大幅に削減しました。一部の地域(約5,300世帯)でペットボトルとプラスチックの戸別収集を開始し収集量がぐんと増え、リサイクルの意識も高まっています。

三鷹市の取り組み

- 〔広報活動〕 『三鷹市リサイクルカレンダー』を全世帯に配付 ごみゼロキャンペーンの実施 美化パトロールによる個別指導 など
- 〔収集の工夫〕 ごみの戸別収集 粗大ごみのポイント制 一部地域で夜間早朝のごみ収集 など
- 〔リサイクルの推進〕 ペットボトルや牛乳パックの収集拠点を増設 リサイクル市民工房で不用品のリサイクルや講習会、フリーマーケットを実施 焼却灰を「溶融スラグ」へリサイクル 家庭用生ごみ処理装置等購入費助成金 など

市民との協働により、ごみ減量・リサイクルに取り組めます

処分組合の理事を拝命いたしました三鷹市長の清原でございます。ごみを減らし、リサイクルを推進することは決して容易なことではありません。つい先日まで、一市民として家庭レベルのごみ問題に悩まされていた私ですが、行政を預かる立場となって改めてその難しさを痛感しています。

私は「市民と行政との協働」の中にごみ問題解決の糸口があると信じていますので、市民の皆様と一緒に知恵を絞り、ともに汗を流して取り組んでまいりたいと思います。最後に、最終処分場を受け入れていただいている地元・日の出町の皆様に、三鷹市民を代表してお礼を申し上げます。

新理事
清原慶子
三鷹市長



うちのごみはどこへ行くの？ どう処理されるの？

多摩地域のごみが運ばれる二ツ塚処分場 埋立処分の方法と安全＆環境対策をレポート！

多摩地域25市1町から出されたごみがどのように処理されているのか、今回は最終処分場を訪れた2人の方のレポートをお届けします。埋立容量に限りがあることや分別の目的を実感として捉えることで、「一人一人のごみ減量の大切さ」がより明確になったようです。



TOPICS 「エコセメント」に注目!

焼却灰をリサイクル

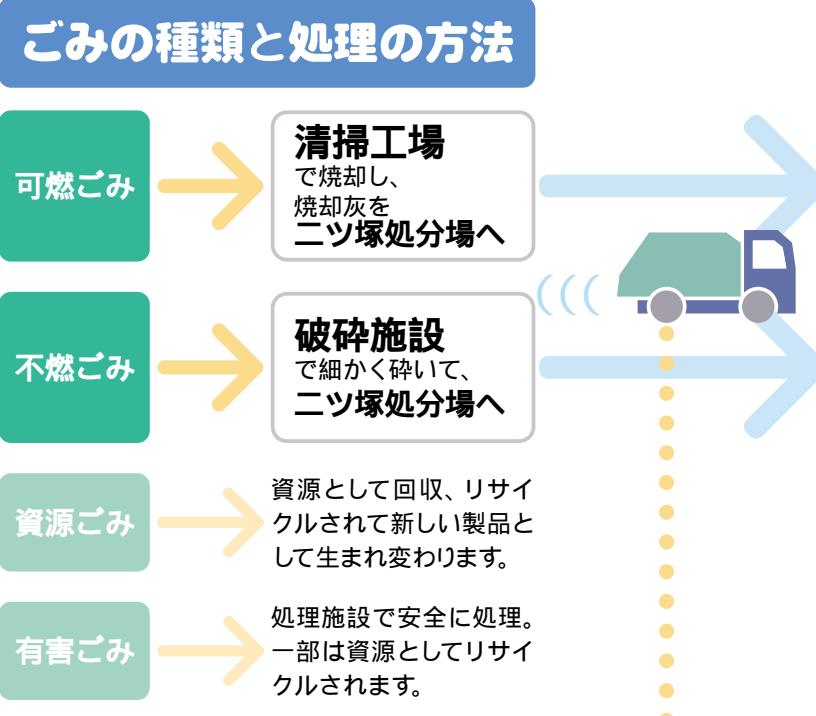
埋立処分されるごみの約6割(容量ベース)は、可燃ごみ焼却灰です。処分組合では、この焼却灰を埋め立てずにセメントとしてリサイクルする「エコセメント事業」に取り組んでいます。

処分場の使用期間を延ばすことが可能に

エコセメント事業の実施によって埋立処分するのは不燃ごみだけになり、二ツ塚処分場の使用期間を、当初予定の16年間から30年間以上にまで延ばすことができます。現在、二ツ塚処分場内ではエコセメント化施設の用地造成工事を行っており、平成18年4月の稼働に向けて着々と準備が進んでいます。

*エコセメントとは...焼却灰を主な原料としてつくる新しいタイプのセメントで、日本工業規格(JIS)に定められた土木建築資材です。普通セメントと同じような用途に使用できます。

上/エコセメント製ベンチと、下/動物の糞物(ともに二ツ塚処分場にて)



二ツ塚処分場(日の出町)で、ごみの最終処分をします

焼却灰と破碎された不燃ごみが1日約500～600トンも運ばれています

全体埋立容量は370万m³の二ツ塚処分場に、燃やされて約10分の1の重量になった可燃ごみの焼却灰と破碎された不燃ごみが、清掃工場などから搬入されます。その量は1日約500～600トン。10トントラックで60～70台になります。

「10分の1になってもずいぶんあるんですね」と驚く濱口さん。「カラスもいないし、イヤな臭いもしない。場内は意外にきれいなんですね」と藤本さん。ごみを下ろし終わったトラックは、洗車設備で土やごみを洗い落としてから処分場を出ます。

藤本あゆみさん
(37歳・西東京市在住)

ご夫婦と中1、小5のお子さんの4人家族。「下の子が学校で地域のごみについて学んでいました。私も一緒に考えるいい機会です。」

濱口美奈子さん
(39歳・西東京市在住)

ご夫婦と小5、小2、4歳のお子さんの5人家族。「ごみを減らす大切さを子どもにどう伝えるか、処分場にヒンゲがありそうですね。」



埋立容量は東京ドームの約3杯分!

新しい取り組み

限りある最終処分場を有効に活用していくために、さらなる取り組みが必要です。

東京都のディーゼル車排出ガス規制に、いち早く対応搬入車両にDPF(粒子状物質減少装置)を装着

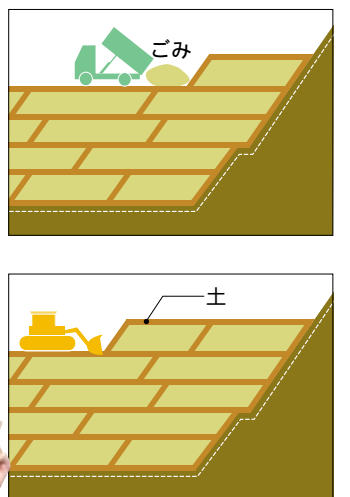
東京都のディーゼル車排出ガス規制が本年10月より始まり、処分組合では該当車両へのDPF(粒子状物質減少装置)の装着を順次進めてきました。沿道周辺の環境負荷の低減を図るため、10月の規制開始に先立ち、平成15年3月には搬入車両25台へのDPF装着が完了しました。



*東京都のディーゼル車排出ガス規制...環境確保条例により、粒子状物質排出基準を満たさないディーゼル車の都内通行を禁止するもの。

「セル工法」でごみの飛散や悪臭を防止しています

埋立地に運ばれたごみは、ブルドーザーなどで敷きならした後、ごみの飛び散りや悪臭発生を防ぐために、その日のうちに土をかぶせます。ごみを土で包むように埋め立てていくこの工法をセル工法と呼んでいます。「想像していたよりずっと衛生的で、「処分場」のイメージが変わりました」と藤本さん。「土と一緒に埋める...ということは埋立容量を全てごみに使えるわけではないのです」と、ごみ減量の大切さを感じた濱口さん。



これがセル工法!

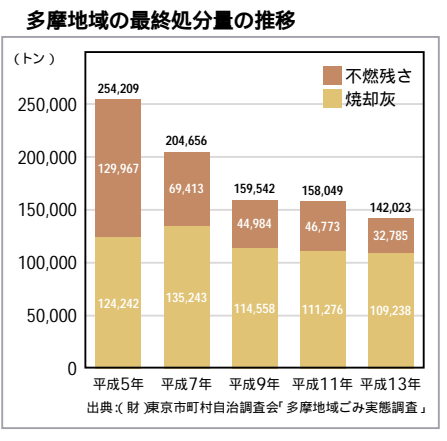
*セル工法...ごみを土で包みこむように埋め立てていきます。土は現地で発生したものを利用しています。

限りある埋立容量、ごみを減量すれば長く利用できます

多摩地域では「ごみ減量・リサイクル推進」の成果で、ごみの最終処分量は年々減少しています。とはいえ、このまま埋め立てを続けると、二ツ塚処分場はあと11年で満杯に。使用期間を延ばすには、住民、事業者、行政が力を合わせて、さらに「ごみ減量」に取り組むことが大切です。



まずは家庭のごみ減量が大事!



谷戸沢処分場

埋立が終わった後も長期にわたって生態系の調査を行っています

二ツ塚処分場の埋立開始以前、昭和59年から14年間にわたり最終処分場として使用されたのが谷戸沢処分場です。処分組合では埋立終了後も引き続き適切な維持管理を行うとともに、生態モニタリング調査を実施。埋立跡地に生まれた広大な草原などに多彩な動植物が確認されています。

「ここが処分場だったの？ 子どもたちにも見せたい!」と見事な花に感激。



浸出水処理施設の前で説明を聞き、「こんなにいろいろなシステムで守られていたんですね」と感心する2人。

複数のシステムで安全性を高めているのね

より安全にごみを運ぶために運転者講習会を実施しました

3月12日(水)に平成15年度の「二ツ塚処分場搬入車両運転者講習会」を管理センターで実施し、搬入および処分場内で運転を担当する計177名が講習を受けました。ビデオ上映、警視庁五日市警察署・前田交通警備課長による講演、管理センター所長による講習、DPFの説



安全対策

浸出水を「貯めない」「漏らさない」「見逃さない」工夫で安全に対応

埋立地に降った雨水がごみに触れて出てくる汚れた水を浸出水といいます。処分場では浸出水を適切に処理し、周辺環境への影響が出ないように取り組んでいます。

浸出水は、埋立地内に「貯めない」よう集排水管ですみやかに集め、浸出水処理施設へ送ります。そこで処理した後、公共下水道へ放流しています。また、埋立地の底には浸出水を外に「漏らさない」ため二重のしゃ水工を施工しています。さらに万が一の漏水を「見逃さない」ためのモニタリングシステムを備えるなど、複数のしくみで安全に対応しています。

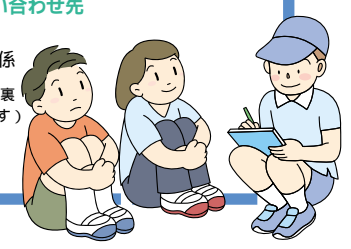
正・副管理者が再任されました

エコセメント事業を着実に推進します
土屋 正忠 管理者(武蔵野市長)

「環境の世紀」と言われる21世紀、処分組合は処分場の管理・運営にとどまらず、より積極的に環境行政を展開していく必要があります。エコセメント事業は、その中核となるべき事業であり、管理者として組織団体25市1町と力を合わせ、責任をもって着実に進めていきたいと思います。地元・日の出町の皆様には、引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。

二ツ塚処分場は多摩の財産です
石川 良一 副管理者(稲城市長)

副管理者に再任いただいた改めて痛感しますのは、処分組合の管理する二ツ塚処分場が多摩地域のごみ処理の生命線であり、貴重な財産であるということです。そして、この処分場を有効に活用し続けるためには、エコセメント事業を是非とも成し遂げなければなりません。多摩地域380万人の住民の皆様とともに、この処分組合の事業に取り組んでまいります。



「処分場見学会」参加者募集中!

今年も夏休み恒例の「処分場見学会」を開催します。親子コースと一般コースがございます。自分たちが出したごみがどのように処理されるのか、処分場や清掃工場に行って確かめてみませんか?

<日時・行程>
【第1回】平成15年8月8日(金)
8:30西武新宿線花小金井駅集合 柳屋園集合 昼食 二ツ塚処分場 谷戸沢処分場 16:30花小金井駅解散
【第2回】平成15年8月18日(月)
8:30JR立川駅集合 八王子市戸吹清掃工場 昼食 二ツ塚処分場 谷戸沢処分場 16:30立川駅解散
各回とも、全行程大型バス2台で移動

【一般コース】
参加資格
多摩地域にお住まいの方または多摩地域の会社・学校等に通勤・通学されている方(中学生以上) 個人または2名1組でお申込みください。
募集人員
第1回(8月8日)の40名
申込み方法
往復はがきに「処分場見学会(一般コース)参加希望」と明記のうえ、参加される方の(1)氏名、(2)年齢、(3)住所、(4)電話番号、(5)多摩地域にお住まいでない方は通勤・通学先を記入してください。
締め切り 7月28日(月)必着

【親子コース】
参加資格
多摩地域にお住まいの小学校4、5、6年生と保護者(18歳以上で2名1組)
募集人員
第1回(8月8日):20組40名
第2回(8月18日):40組80名
申込み方法
往復はがきに「処分場見学会(親子コース)参加希望」と明記のうえ、お二人の(1)氏名、(2)年齢(学年)、(3)住所、(4)電話番号、(5)希望回を記入してください。
締め切り 第1回は7月28日(月)必着
第2回は8月4日(月)必着

いずれも参加費は無料。申込者が多数の場合は抽選。結果は、返信用はがきでご連絡します。
申込み・お問い合わせ先
処分組合「処分場見学会」係
(住所・電話番号は裏面の一番下にあります)

谷戸沢の四季 処分場の「いま」

色とりどりの花が咲いています

春から夏にかけて植物も成長し、緑が鮮やかな季節を迎えました。22ヘクタールという広大な平原をつなぐ斜面には、オオキンケイギクという黄色の花を中心に、さまざまな花々が咲いています(6月上旬撮影)。澄みきった空には、ヒバリをはじめとする鳥たちの鳴き声が響いています。

谷戸沢の花々
埋立跡の斜面に一面の花が咲きました。黄色い花はオオキンケイギク、白い花はフランスギク、ピンクのなでしこも見られます。



清流復活用貯水池。浮島には緑の草が伸び、鳥たちの休息の場になっています。

ひまわりまつり 日の出だより

きれいなお花と 過ごす楽しい一日

毎年好評の「ひまわりまつり」を8月2日(土)に開催する予定です。本宿小学校前の畑に植えた約5000本のひまわりが、この時期満開を迎えます。町民有志が集まり、種まきや草むしりなどをして「ひまわり園」を作りました。真夏の太陽に輝く美しい花々を、どうぞお楽しみください。

おまつりでは飲食コーナーや地元の野菜などの出店、子どもが遊べるコーナー等を設けて、たくさんの方々のご来場をお待ちしています。ひまわりの花のプレゼントも準備していますので、お楽しみに。



一面のひまわりが見ものです。

日時 / 8月2日(土) 予定 会場 / 本宿小学校前

ご家族おそろいで、日の出町の夏の風物詩をお楽しみください。
【問い合わせ先】日の出町役場 観光課商工観光係 TEL.042-597-0511(内線241)

三多摩は一つなり交流事業

*「三多摩は一つなり交流事業」...最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々と多摩地域25市1町の住民とが、文化・スポーツなどの事業を通じて交流し、相互の理解を深めていくことを目的とした事業。処分組合では、この事業の実施を支援しています。

2003年春の実施イベントの報告

3月29日 青梅市と日の出町、 「そば打ち体験」で交流

青梅市と日の出町の親子51名が、日の出町でそば打ちを体験。二ツ塚処分場を見学した後、手打ちそばを味わいました。



5月11日 「ひの新選組まつり」にご招待

日野市で開催された「ひの新選組まつり」に日の出町の親子70名が招待されました。市内にある多摩テックでバーベキューなどを楽しんだ後、まつり会場へ移動。あいにくの雨でしたが、新選組隊士のパレードにあたたかい声援を送りました。

2003年夏の実施イベント

実施日	イベント名	実施主体
7月20日(日)	炭焼体験と花火大会	調布市
7月25日(金)	親子そば打ち体験(小平市)	日の出町
8月23日(土)	アニメーション美術館見学と三鷹阿波踊り	三鷹市
8月28日(木)	親子そば打ち体験(町田市)	日の出町
8月下旬	リサイクル教室と府中郷土の森プラネタリウム見学	府中市

エコセメント通信

エコセメント事業の民間業者が決定しました

処分組合では、エコセメント事業の施設整備および運営を行う民間業者を選定し、6月6日に基本協定を締結しました。

施設整備事業者 / 太平洋セメント株式会社 株式会社荏原製作所
運営事業者 / 東京たまエコセメント株式会社(同社は、太平洋セメント株式会社と株式会社荏原製作所の出資による特別目的会社<SPC>です。)

平成18年4月から38年3月までの20年間の支払い予定金額は、約763億6,900万円(消費税含まず)で、そのうち建設請負は258億9,000万円、運営業務委託は約504億7,900万円です。

7月下旬に処分組合議会で議決後、本契約を締結し、平成16年1~2月には施設建設工事に着手する予定です。



エコセメント事業のシンボルマーク愛称募集に多数のご応募をいただきありがとうございました。厳正な審査を行い、次号誌面に愛称をお知らせする予定です。

エコセメント事業に対して訴訟が提起されました

去る4月15日、日の出町等の住民49名が、エコセメント施設の建設の差止を求める訴えを東京地裁八王子支部に提訴しました。今後、処分組合は、裁判において、エコセメント事業が有用であること、さらに周辺環境に及ぼす影響が最小限に止まることを主張していきます。

処分組合の動き

3月24日(月) エコセメント化施設整備運営事業者選定審査会(第3回)

4月25日(金) エコセメント化施設整備運営事業者選定審査会(第4回)

4月28日(月) 平成15年第2回正・副管理者会議

平成15年第2回理事会

6月6日(金) 第9回処分組合技術委員会

エコセメント事業の基本協定締結

6月11日(水) 第13回環境保全調査委員会

6月13日(金) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会

6月16日(月) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会

6月25日(水) 平成14年度谷戸沢処分場・二ツ塚処分場水質等調査結果公表

平成14年度ダイオキシン類調査(大気、水質、底質、土壌)結果公表

平成14年度処分場水質中の外因性内分分泌攪乱物質の調査結果公表

ホームページをご覧ください * *
<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。クイズに挑戦しながら「ごみ処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先

TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-7-1 東京自治会館内
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」
[メールアドレス] sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com